

## 平成25年9月1日現在の世帯数と人口

(千種区 18.23K㎡)

学区名	世帯数	人 口			対前月増減	
		総数	男	女	世帯数	人口
1 千 種	4,892	8,402	4,214	4,188	△ 7	5
2 千 石	3,375	6,662	3,374	3,288	△ 3	△ 1
3 内 山	4,861	7,127	3,837	3,290	△ 9	0
4 大 和	3,155	6,566	3,283	3,283	△ 19	△ 27
5 上 野	7,325	15,694	7,655	8,039	4	39
6 高 見	6,288	12,374	5,954	6,420	△ 5	△ 15
7 春 岡	6,345	10,433	5,546	4,887	△ 9	△ 6
8 田 代	11,129	21,315	10,199	11,116	7	16
9 東 山	9,694	18,899	9,235	9,664	22	53
10 見 付	4,285	8,319	4,164	4,155	△ 26	6
11 星ヶ丘	3,356	6,638	2,978	3,660	9	22
12 自由ヶ丘	3,501	7,752	3,528	4,224	△ 5	1
13 富士見台	6,358	15,649	7,228	8,421	11	34
14 宮 根	3,686	8,405	3,975	4,430	5	18
15 千代田橋	3,600	8,754	4,096	4,658	12	19
千 種 区 計	81,850	162,989	79,266	83,723	△ 13	164
H24.9.1	81,004	161,609	78,554	83,055	37	115
対 前 年 比	846	1,380	712	668	△ 50	49
名 古 屋 市	1,033,489	2,270,841	1,118,606	1,152,235	561	452
愛 知 県 ( H25.8.1 )	2,991,250	7,432,971	3,713,178	3,719,793	2,051	1,810

前月中の増減内訳	自然動態			社会動態		
	出 生	死 亡	自然増減	転 入	転 出	社会増減
	135	100	35	989	860	129

【参考】

国勢調査千種区人口				これまでの最大人口	
昭和50年	168,861	平成 7年	148,847	173,598 (昭和50年2月1日)	
昭和55年	166,837	平成12年	148,537		
昭和60年	163,762	平成17年	153,118	これまでの最少人口	
平成 2年	156,478	平成22年	160,015	146,727 (平成11年4月1日)	

注) 世帯数と人口は、平成22年国勢調査結果を基礎として、毎月の住民基本台帳人口の異動数を加減して推計したものです。(平成24年7月中の集計までは、毎月の外国人登録の異動数も加減して推計しています)

## 千種区の人口重心

平成25年9月1日現在の千種区の世帯数は13世帯減の81,850世帯となっており、人口は164人増の162,989人となっています。今回は平成22年国勢調査の名古屋市小地域集計結果に基づき、名古屋市及び千種区の人口重心について見ていきます。

人口重心とは、人口の1人1人が同じ重さを持ち、その地域と同じ形状の平板上に人口が分布していると仮定した場合、その平板を下から支えると、傾かないで全体として平衡を保つことのできる点を言います。(平成12年までは本市独自の算出により人口重心が公表されていましたが、平成17・22年国勢調査においては、総務省統計局の算出による人口重心が公表されています。算出方法の相違のため単純比較はできませんが、参考値として以下に表します)

平成22年10月1日現在の名古屋市の人口重心は昭和区御器所通1丁目内(北緯35度8分58.2秒、東経136度55分39.5秒)の地下鉄荒畑駅東付近にあります。平成17年の人口重心と比較すると、引き続き東北東へ若干異動しており、守山区を始めとする、市北東部での人口増加によるものと思われる。

図1:名古屋市の人口重心の推移(S60年→H22年)

年次	位置	北緯(度・分・秒)			東経(度・分・秒)		
		度	分	秒	度	分	秒
昭和60年	昭和区鶴舞四丁目16番	35	9	2.8	136	55	26.0
平成2年	昭和区鶴舞四丁目17番	35	8	59.6	136	55	30.8
平成7年	昭和区御器所三丁目2番	35	8	58.3	136	55	32.4
平成12年	昭和区紅梅町1丁目	35	8	57.3	136	55	35.9
平成17年	昭和区御器所通1丁目	35	8	57.8	136	55	37.7
平成22年	昭和区御器所通1丁目	35	8	58.2	136	55	39.5



平成22年10月1日現在の千種区の人口重心は千種区姫池通1丁目内(北緯35度10分17.0秒、東経136度57分27.6秒)にあります。平成17年の人口重心と比較すると西方向に23mの移動となっており、区内西部を中心に人口が増加していることがうかがえます。

図2:千種区の人口重心の推移(H17年→H22年)

年次	位置	北緯(度・分・秒)			東経(度・分・秒)		
		度	分	秒	度	分	秒
平成17年	姫池通1丁目	35	10	17.1	136	57	28.5
平成22年	姫池通1丁目	35	10	17.0	136	57	27.6



注) 緯度・経度の表示は世界測地系により、昭和50年から平成12年は本市の、平成17年からは総務省の推計値である。